



BitNote2 操作説明書

ターボシステムズ株式会社

製作著作

©2018 : TURBOSYSTEMS CO., TLD. All rights reserved.

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的のために複製、配布することはできません。 TURBOSYSTEMS CO., TLD.、ターボシステムズの名称およびロゴはターボシステムズ株式会社の商標ま たは登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本ガイドでは、©、®、™の表示を省略しています。ご了承ください。

ご使用前にお読みください

A. 警告表示について

下記マークは本製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用に加えられるおそれのある危害や損害を、未然 に防止するための目印となるものです。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

A	<u> </u>	死亡または重大な傷害を引き起こす可能性が高い差し迫った危険
		の存在を示すのに用いられます。
<u>^</u>	危険	死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の
		存在を示すのに用いられます。
<u> </u>	计音	軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある潜在的な
	注息	危険の存在を示すのに用いられます。
	危険パーツ	軽度の傷害または中程度の傷害を引き起こす恐れのある危険なフ
		アンの存在を示すのに用いられます。
企重要	青西	人身傷害とは関係のない損害をひき起すおそれのある危険の存在
		を示すのに用いられます。

また、危害や損害の内容を示すために、上記のマーク表示と同時に次の記号を使っています。

Ø	禁止行為(してはいけない行為)であることを告げるものです。具体 的な禁止内容が示されています
•	必ず従っていただく内容であることを告げるものです。具体的な指示
U	内容が示されています。

本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。 また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

B. 安全上のご注意

	⚠警告
	本製品の分解・解体・改造・再生を行わないでください。
\bigcirc	この装置を改造しないでください。火災や感電の原因になります。
-	また、改造により発生した結果については、一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
	万一、発煙・異臭などがあった場合は、装置への給電を遮断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
0	故障状態のままお使いになると火災や感電の原因になります。
	本製品の電源ケーブルは、タコ足配線にしないでください。
0	コンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。
•	電源ケーブルは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。
U	プラグが傷んで感電や火災のおそれがあります。
•	電源プラグの金属部分にほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。
U	そのまま使用すると、火災の原因となります。
	電源プラグは、電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。
U	差し込みが不十分な場合、感電•発煙•火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
0	感電のおそれがあります。
0	使用中の装置を布でおおったり、包んだりしないでください。
0	不十分な換気状態では熱がこもり、火災の原因となることがあります。
	金属片やコーヒーなどの液体やクリップなど、装置内部に入らないように気をつけてください。
0	また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上には物を置かないでください。
	感電や火災のおそれがあります。
	空冷ファンは交換しないでください。作業時に指を挟んでけがをする危険性があります。
Þ	交換が必要な場合には、担当営業員に連絡してください。
0	装置を落下させたり、その筐体が破損した場合は、使用しないでください。
0	修理や点検なしに装置を使用すると、火災や感電のおそれがあります。
0	この装置を開梱する時や持ち運ぶ時に指をはさんだり、ぶつけたりしてけがをしないように注意してください。
	装置を廃棄するときは、廃棄物管理表(マニフェスト)の発行が義務付けられています。
	詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会に問い合わせてください。

	注意
	振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
0	故障の原因となります。
	装置の上に物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。
0	故障の原因となります。
	装置が落下または転倒するとけがをする恐れがあります。
Þ	装置の運搬時には十分注意してください。
	ほこりや腐食環境で機器を使用することは避けてください。
Þ	機械の故障の恐れがあります。
0	薬品にふれる場所で使用しないでください。
0	故障の原因となります。
0	電子レンジなど、強い磁界を発生する装置のそばで使用しないでください。
0	故障の原因となります。
	直射日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。
•	感電や火災のおそれがあります。
0	直射日光のあたる場所や暖房機の近く、湿気、ほこりの多い場所には置かないでください。
Q	感電や火災のおそれがあります。
	機器の前面と背面空間は換気口のために十分なクリアランスを確保してください。
0	過度の温度上昇は、本装置の故障、または耐用年数の短縮を引き起こす可能性があります。
-	また、保守作業のための十分な領域を確保してください。

	企重要
	ねじの締め付け・取り外しの際には、ねじ頭の大きさ、種類に合った工具を使用し、ねじ頭を潰さな
0	いよう注意してください。
0	ねじの締め付け時には、ねじ山の破壊防止のため、無理な力を加えずねじ穴に対してまっすぐに締め
	付けてください。
	この装置をじんあいの多い所や、腐食性ガスのある環境で使用することは避けてください。故障の原
•	因になります。
	この装置の前面および背面には、吸排気孔のためのスペースを必ず確保してください。温度上昇によ
•	る故障または短寿命の原因になります。また、保守作業のための保守スペースが必要です。
	この装置にはハード・ディスク・ドライブが実装されています、機器への強い衝撃や振動を与えないでく
•	ださい。故障の原因となります。

C. 設置環境



D. 電源コードの接続



さい。

● 接地極のない2極差し込みプラグは使用しないでください。感電や機器故障の原因となります。

E.ご連絡先について

ご使用中の機器の故障、製品取扱に関するお問合せは、以下までご連絡お願い致します。

通常連絡先・修理機器送付先

〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-14 高輪パークタワー

受付時間: 平日9:00~17:00

TEL: 03-6277-1824

Mail: vn_support@itochu-cable.co.jp

※保守サービスご契約中のお客様は、別途ご案内の保守サービスコールセンターまでご連絡下さい。

変更履歴

変更日	バージョン	変更内容
2018年12月1日	1.0.0	初版

目次

第1章	はじめに10
1.1	BitNote2 について10
1.2	BitNote2 機能概要10
1.3	BitNote2 サーバ仕様13
第2章	ウェブ管理画面へのアクセス16
2.1	電源オン / オフ16
2.2	ログイン17
2.3	ログアウト18
2.4	パスワードの変更 19
第3章	ダッシュボード
第4章	システム設定
4.1	ネットワーク設定
4.2	時刻設定
4.3	マウント設定
4.4	Windows 共有設定
4.5	FTP 設定
4.6	アラート設定
4.7	システム
第5章	QC
5.1	プロファイル
5.2	検査実行
5.3	検査結果
第6章	システム情報
第7章	プロファイル
7.1	コンテナ設定
7.2	映像設定
7.3	音声設定
7.4	字幕
7.5	その他
第8章	プレビュー54

第9章 アラート一覧	57
------------	----

第1章 はじめに

本書は「BitNote2」の概要、機能、およびソフトウェアの操作方法について記載しています。本書は本装 置を使用されるシステム設計者および管理者を対象とし、ネットワークや映像配信に対する基礎的な知識を お持ちであることを前提に記述しています。

BitNote2

http://www.turbosystems.co.jp/BitNote2/

1.1 BitNote2 について

BitNote2 は、動画コンテンツの規格適合性および品質検査を行う自動検査システムです。 従来の目視検査 にかわる QC(Quality Check)ツールとして利用することにより、搬入/放送用コンテンツの安全な受け入 れと検査時間の大幅な短縮が可能になります。 また、わかりやすい日本語対応ウェブ操作画面と高度な解 析技術により低コストながらも高速な検査オペレーションを実現します。

1.2 BitNote2 機能概要

運用イメージ



主な特徴

- ・ 分かりやすい日本語対応ウェブ操作画面を搭載
- ・ ウォッチフォルダ監視による自動検査および検査完了ファイルの振り分け保存
- ・ NFS、Samba および USB 外部ストレージのマウントに対応
- ・ XDCAM/XAVC/HEVC などの主要フォーマットに対応(4K 対応)
- ・ 閾値によるユーザ独自の検査プロファイルを設定可能
- ・ 品質検査:黒味、フリーズ、無音、ラウドネス、モノラルチェック、パカパカ(オプション)
- ・ レポート出力(PDF、HTML)※日本語表示/エラー箇所のサムネイル表示
- ・ プロキシ生成/プレビュー ※ 検査時にプロキシを生成しブラウザからプレビュー可能
- 検査結果の自動削除機能
- ・ 検査結果のメール通知、SNMP トラップ通知が可能
- ・ 外部システムからの WebAPI による制御(別途ご相談)

BitNote2 の主な新機能

- · MXF 構造検查 / MXF 映像記述子検查(XAVC、XDCAM)
- ・ MP4 ボックス検査
- ・ ノイズ検出(映像:ブロックノイズ 音声:モスキートノイズ、ハムノイズ、クリックノイズ)
- · 7.1ch 検査対応、第 1~第 4 音声検査対応
- · 字幕検査字幕検査(MXF ANC に重畳された ARIB 字幕)
- ・ FTP アップロード機能
- ・ プロファイルのインポート/エクスポート

対応フォーマット

コンテナ	MXF, MPEG2-TS, MP4	
映像コーデック	XDCAM, XAVC, H.265/HEVC, H.264/AVC, MPEG-2	
音声コーデック	リニア PCM, MPEG-2 AAC, MPEG-4 AAC	

検査項目

コンテナ	コンテナタイプ, ビットレート, コンテナデュレーション, MXF オペレーショ ナルタイプ, MXF 構造, MXF 映像記述子, GOP 発行間隔, PCR 発行間隔, PAT 発行間隔, PMT 発行間隔, TS PID, TS PMT PID, TS PCR PID, TS VIDEO PID, TS AUDIO PID, TS AUDIO2 PID
映像コーデック	映像コーデック, 映像プロファイル, 映像レベル, 映像フォーマット, 映像サイズ, アスペクトレシオ, フレームレート, フィールドオーダー, カラーレンジ, カラースペース, カラープライマリ, カラートランスファー, 映像再生時間, 映 像ビットレート, 映像揺らぎ誤差, 黒味, フリーズ, スタートタイムコード, ブ ロックノイズ, Harding FPA(オプション)

音声コーデック	音声コーデック, 音声プロファイル, 音声レベル, サンプルレート, ラウドネ ス, 音声揺らぎ誤差, 音声再生時間, 音声ビットレート, 映像と音声の差, 無音, トゥルーピーク, ラウドネスピーク, 音声マッピングタイプ(第1〜第4音 声), モスキートノイズ, ハムノイズ, クリックノイズ
字幕設定	字幕フォーマット, 字幕ページの間隔閾値, 字幕の先頭データ, クリアパケット, 字幕データ出力

Web 管理インターフェイス

BitNote2 が提供するウェブ管理インターフェイスにより、容易にサーバ設定やアプリケーション操作が可能です。

ダッシュボード	各種サマリ、ステータスを一覧表示します。 ・ CPU / メモリ / ストレージ使用率
	・ QC 進捗状況表示
	・ OC 結果一覧(最近 20 件まで)
設定	サーバ、外部ストレージマウント、アラート設定等、システムに関する設定 を行います。
	 ネットワーク設定(IP アドレスの設定)
	・ 時刻設定(NTP サーバの指定)
	・ マウント設定(NFS, CIFS 共有ストレージのマウント設定)
	・ Windows 共有設定(データ領域の公開設定)
	・ FTP 設定(FTP サーバの設定)
	・ アラート設定(SNMP トラップの設定)
	・ システム(サーバの再起動/停止、検査結果削除設定等)
ос	プロファイルの作成、検査実行、検査結果の表示等を行います。
	・ プロファイル(プロファイルの作成、編集)
	· 検査実行(ウォッチフォルダの設定、手動検査実行)
	・ 検査結果(検査結果一覧、レポート表示/ダウンロード、プロキシプレ
	ビュー表示)
システム情報	バージョン情報の確認やシステムのアップデートを実行できます。

1.3 BitNote2 サーバ仕様

本体・ハードウェア

CPU	Intel® Xeon® Gold 6128 (3.40 GHz 6 Core, 12 Thread) x2
メモリ	64GB
ディスク	システム領域 SSD 240GB / データ領域 HDD 2TB
イーサネット	RJ-45 x 2 (Intel GbE コントローラ) ※オンボード
電源	700W / 750W 1+1 冗長電源
サイズ	1U ラックマウント: H.43mm x W.437mm x D.597mm
重量	約 13kg

※ ハードウェアは予告なく変更になる可能性があります

ハードウェア筐体前面



12 34

1	SSD (システムドライブ 240GB/RAID1) LED ブルー点滅/点灯: ディスクアクセス状態(消灯時はアクセスなし) LED レッド点灯: ディスク障害
2	SSD (システムドライブ 240GB/RAID1) LED ブルー点滅/点灯: ディスクアクセス状態(消灯時はアクセスなし) LED レッド点灯: ディスク障害
3	HDD (データドライブ 2TB/RAID1) LED ブルー点滅/点灯: ディスクアクセス状態(消灯時はアクセスなし) LED レッド点灯: ディスク障害
4	HDD (データドライブ 2TB/RAID1) LED ブルー点滅/点灯: ディスクアクセス状態(消灯時はアクセスなし) LED レッド点灯: ディスク障害
5	 電源ボタン: 押下時に電源起動、長押し時に強制シャットダウン ※強制シャットダウンはウェブ管理画面からシステム終了が出来ない場合のみ実行して下さい。 リセットボタン: システムリブート ※リセットはウェブ管理画面からシステム終了が出来ない場合のみ実行して下さい。 電源インジケータ: 電源起動時にグリーン表示、電源 OFF 目つ電源供給時アンバー表示



ハードウェア筐体背面



1	電源 0
2	電源1
3	USB3.0 接続ポート
4	eth0 ポート(1GbE) 出荷時 IP アドレス:192.168.0.1
5	eth1 ポート(1GbE)

対応 Web ブラウザ

BitNote2 は Google Chrome での動作を確認しています。

Microsoft Edge 等、他のブラウザでも動作は可能ですが、レイアウトや動作に問題が発生する可能性があります。

動画ファイルの拡張子

動画ファイルの拡張子はコンテナに合わせて必ず以下の通りとしてください。

コンテナ	ファイル拡張子規則
MPEG2 TS	ファイル名.ts
MP4	ファイル名 .mp4

XAVC / XDCAM

ファイル名**.mxf**

続行不可能なエラー

QC の続行が不可能なエラーには以下があります。

- ・ サポートしていないコンテナ
- ・ サポートしていないコーデック
- ・ ストリームの情報が解析不可能な場合
- ・ データが空の場合

プロファイルに記述がなくてもエラーになる検査項目

以下の場合は、プロファイルに記述がなくてもエラーとして検出されます。

- ・ m2ts で GOP, PCR, PMT, PAT が 1.x 秒間以内発生されない場合
- ・ すべての管理するタイムスタンプいずれかが負の値に変化した場合
- ・ m2ts で、ts section の CRC32 エラーを検出した場合
- m2ts の ts pes において、continuity_counter が非連続または、transport_scrambling_control が ある場合、または pes が破壊されている場合
- ・ m2ts の pmt の値が変化した場合
- ・ 映像のデコードに失敗した場合
- ・ 音声のデコードに失敗した場合
- · 音声のフォーマットが途中で変更された場合。例) stereo → 5.1

 $\ensuremath{\textcircled{}^\circ}$ 2018 Turbosystems Co., Ltd.

第2章 ウェブ管理画面へのアクセス

2.1 電源オン / オフ

BitNote2の電源をオンするには、ハードウェア筐体前面の電源ボタンを押します。

😑 🛛 電源投入からシステムが起動するまでには、およそ 2 分 30 秒かかります。

電源オフの方法については「4.7 システム」を参照してください。

2.2 ログイン

BitNote2 のウェブ管理画面へアクセスするには、クライアントのウェブブラウザを起動して以下の URL へ アクセスします。

製品出荷時は eth0 ポートへ 192.168.0.1/255.255.255.0 が設定されています。

ホスト名を指定してアクセスするには、DNS サーバによって名前解決可能な環境である必要があります。

BitNote2 のログイン画面が表示されます。



初期状態では以下のユーザ名とパスワードが設定されています。

ユーザ名	パスワード	説明
admin	admin	BitNote2 の管理者です。ウェブ管理ツールより全ての設定操作が 可能です。
bitnote	bitnote	bitnote ユーザが標準で作成されています。このユーザでログイン すると、「QC」メニューと「システム設定」-「システム」メニュ ーだけが表示されます。



ログイン画面には「システム設定」-「ネットワーク設定」で指定したホスト名が表示されます。

「ユーザ名」に admin、「パスワード」に admin を入力し、 [ログイン] ボタンを押します。

SitNote2							Login ~
 ⑦ ダッシュボード ③ システム設定 	ダッシュボード Home > ダッシュボード					🖵 ポスト名: TSS-BitNote	曲 サーバ時刻: 2018/11/29 17:42:35
ホットワーク協定 時刻設定 マウント設定 Window:計算定 FTF設定 フワラート設定 シスアム 注 QC プロファイル 地震家行 地震家行 地震派策 ・ ・ ・ を の の ・ の の の の の の の の の の の の の	システム ステータス CPU メモリ システムストレー ジ データストレージ	74%。 22%。 95%。 97%。	1862/6738MB 17222/17675MB 86059698987MB	最新の実行結果 日付 11/27 11/21 43 11/22 14:49 30 11/22 14:33 43 11/22 14:36 29 11/22 13:56 29 11/22 13:50 66 11/22 13:49 17	チェックファイル / datah hido/2111TLE83 MAG / datah hido/2111TLE83 MAG		加田数-36 0 18 0 18 項目数-36 0 18 0 18 可目数 - 36 0 18 0 18 可目数 - 36 0 18 0 18
2016 9 TurboSystems	manual manual	AdataPFAample, heve pf	(dalabbb-60secmp4 (dalabbb-60secm) mail+TEVC ts		100.0% (CグファイルAi起中) 7.5%		et

BitNote2 のウェブ管理画面(ダッシュボード)が表示されます。「第3章 ダッシュボード」を参照してください。

2.3 ログアウト

画面右上の「Login」メニューをクリックし、「Log Out」を選択します。ログイン画面へ戻ります。

2.4 パスワードの変更

画面右上の「Login」メニューをクリックし、「My Profile」を選択します。

SitNote2				Login 🗸
 グッシュボード 				
③ システム設定 ネットワーク設定			🖵 ホスト名: TSS-BitNote	箇 サーバ時刻: 2018/11/29 17:44:53
時刻設定				
マウント設定 Windows共有設定	▲ バスワード変更			
FTP設定		新しい パスワード (雑誌)		
アラート設定		ノスワードを変更 キャンセル		
システム				
検査実行				
検査結果				
② システム情報				
2016 @ TurboSystems.				

パスワードを変更するには以下の項目を入力します。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード

新しいパスワードを入力します。

新しいパスワード(確認)

新しいパスワードをもう一度入力します。

入力完了後、「パスワードを変更」ボタンを押します。

第3章 ダッシュボード

State Credity Check system =							Login ~
⊘ ダッシュポード	ダッシュボード						
③ システム設定 キットワーク部序						🖵 ホスト名: TSS-BitNote	曲 サーバ時刻: 2018/11/29 17:42:35
時刻設定				最新の実行結果			
マウント設定							結果
Windows共有設定			1862/6738MB				項目数=36 🕑 18 😢 18
FTP的本				11/22 14:49:30	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF		項目数=36 😪 18 🙁 18
アラート均定	データストレージ	97%	86059/88987MB	11/22 14:33:48	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF		項目数=36 🕑 18 🔞 18
2.7m/				11/22 14:02:05	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF		項目数=36 218 218
>>> A				11/22 13:50:06	/data/.hide/21TITLEU3.MXF		項目数=36 ♥18 ♥18
:= QC				11/22 13:49:17	/data/bbb-60sec.mp4		項目数=29 ♥18 ♥11
プロファイル							
検査実行							
検査結果	実行中						
	ウォッチフォルダ						
				_	100.0% (ログファイル作)	成中)	停止
	manual	/data/PF/sample_hevc.pf	/data/bbb_sunflower_2160p_60fp mai-HEVC.ts	ps_nor	7.9%		停止
2016 @ TurboSystems.							

ダッシュボードは、BitNote2のウェブ管理画面へログインしたときに表示されるトップページです。サーバのリソース状況やQCの実行状況といった情報を直感的に把握することが可能です。

ダッシュボードでは以下の情報を確認することができます。

サーバ時刻

BitNote2 に設定されているシステム時刻を表示します。

ホスト名

管理画面右上に BitNote2 に設定したラベル名が表示されます。「ネットワーク設定」の「ホスト名」で設定したマシン名が表示されます。

システム ステータス

CPU		
	28%	1862/6738MB
		17222/17675MB
	97%	86059/88987MB

CPU 使用率、メモリ使用率、システムドライブ使用率、データドライブ使用率をグラフィカルに表示します。

最新の実行結果

最新の実行結果		
日付	チェックファイル	結果
11/27 11:21:43	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 🔮 18 😫 18
11/22 14:49:30	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 🔮 18 😫 18
11/22 14:33:48	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 📀 18 😫 18
11/22 14:02:05	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 😪 18 😫 18
11/22 13:56:29	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 😪 18 😫 18
11/22 13:50:06	/data/.hide/Z1TITLE03.MXF	項目数=36 😪 18 😢 18
11/22 13:49:17	/data/bbb-60sec.mp4	項目数=29 🔮 18 😫 11

最近の QC の実行結果を 20 件まで表示します。

行をクリックすると、「検査結果」一覧画面の該当結果ヘジャンプします。

実行中

実行中					
ウォッチフォルダ	プロファイル	チェックファイル			
manual	/data/PF/sample_xdcam.pf	/data/Z1TITLE03.MXF	70.5%	停止	
manual	/data/PF/sample_xdcam.pf	/data/Z1TITLE04.MXF	71.1%	停止	
manual	/data/PF/sample_xdcam.pf	/data/Z1TITLE05.MXF	71.1%	停止	
manual	/data/PF/sample_xdcam.pf	/data/Z1TITLE06.MXF	71.1%	停止	
manual	/data/PF/sample_xdcam.pf	/data/Z1TITLE07.MXF		停止 🚭	先実行

検査中のファイルの進捗状況、および検査待ちファイルの一覧を表示します。4ファイルまで同時実行可能 です。5つ目以降のファイルは検査待ち状態となります。

検査待ちのファイルは「優先実行」ボタンを押すことで、キューの先頭に移動することができます。

特定のファイルを先に検査したい場合に便利です。

検査をキャンセルするには「停止」ボタンを押します。

ウォッチフォルダにあるファイルをキャンセルした場合、そのファイルは検査対象から外されま す。再度実行したい場合は、一旦、ファイルを削除し、もう一度ウォッチフォルダへファイルをコ ピーしてください。

4ファイル同時検査実行中に、手動検査実行したファイルはキューの先頭に登録されます。

第4章 システム設定

この章では、BitNote2のウェブ管理インターフェイスから設定可能な「システム設定」メニューについて 記載しています。

4.1 ネットワーク設定

ネットワーク設定		
ネットワーク設定	ホスト名	BitNote
	ネットワーク・イ	ンターフェイス eth0 ・
	● 手動	IPv4アドレス
		サブネットマス ク
	O DHCP	172.16.83.32
	● 手動	IPv6アドレス
	●自動	fe80::ae1f.6bff.fe48.e0e4/64
	GW	eth0
	GW IPv6	eth0 v
	DNS	
変更を保存		

BitNote2のホスト名の設定や IP アドレスの設定を行います。

ホスト名

BitNote2のホスト名を指定します。ここで指定したマシン名は、ログイン画面やウェブ管理画面の右上に表示されます。

ネットワーク・インターフェイス

設定するネットワークインターフェイスをプルダウンから選択します。 BitNote2 サーバ背面に搭載されている 2 つのネットワークインターフェイスの設定が可能です。 サーバ背面のポート左から eth0、eth1 の順番になります。

手動(IPv4)

固定 IP アドレスを設定する場合に選択します。IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。



DHCP (IPv4)

DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合に選択します。

手動(IPv6)

IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。

自動(IPv6)

IPv6 アドレスを自動取得する場合に選択します。

GW

デフォルトゲートウェイのネットワークインターフェイスと IP アドレスを設定します。

DNS

BitNote2 がホスト名と IP アドレスの名前解決を行うために問い合わせる DNS サーバの IP アドレスを指定します。複数の DNS サーバを指定する場合は、1 行に 1 つの IP アドレスを入力します。このフィールドを省略すると、BitNote2 はホスト名を使用して他のコンピュータを特定することができなくなります。

4.2 時刻設定

時刻設定							
	時刻設定	●手動	年月 日	2018/12/03	時刻	11:46:16	
		● NTPサーバ	NTP1 NTP2	ntp.nict.jp ntp.ring.gr.jp			
変更を保存							

BitNote2 のシステム時刻を設定します。

手動

サーバの現在時刻を指定します。

NTP サーバ

時刻同期を行う NTP サーバを指定します。プライマリサーバとセカンダリサーバの指定が可能です。

4.3 マウント設定

マウント設定							
マウント設定	Windowsファイル	共有(SMB)					
	5~N						
	マウント元 //S						
	ユーザ名						
	パスワード						
	NTLM認証	NTLM2222 OFF					
	マウントポイントを追加	。 追加 -	•				
	ラベル	マウントタイ プ	マウント元	ユーザ名	アンマウント	削除	
	nfsshare	nfs	172.16.80.56:/data		アンマウント		
変更を保存							

ネットワーク上の共有ディレクトリをマウントします。マウントした共有ディレクトリは「ファイル再生」 画面の「ディスク選択」に表示されます。

Windows ファイル共有(SMB) / NFS

共有ディレクトリのタイプを指定します。「Windows ファイル共有(SMB)」および「NFS」から指定可能です。

ラベル

マウントポイントを識別するために任意のラベル名を指定します。

マウント元

マウント元を以下のフォーマットで入力します。

192.168.0.10 は共有ディレクトリを公開しているサーバの IP アドレスです。

SHARE_DIR は公開している共有ディレクトリの名称です。

マウントタイプ	入力形式
Windows ファイル共有(SMB)	//192.168.0.10/SHARE_DIR
NFS	192.168.0.10:/SHARE_DIR

ユーザ名 / パスワード

マウント先に「Windows ファイル共有(SMB)」を設定した場合に表示されます。

共有ディレクトリへアクセスするために必要なユーザ名とパスワードを指定します。

マウントポイントを追加

「追加」ボタンを押すと入力したマウントポイントが一覧に追加されます。 「変更を保存」ボタンをクリックし、設定を反映してください。

マウントポイント一覧

項目	説明
ラベル	ラベルが表示されます。ラベルは検査実行のウォッチフォルダ選択時や「デ
	ィスク選択」に表示されます。
マウントタイプ	共有ディレクトリのタイプが表示されます。
マウント元	マウント元が表示されます。
ユーザ名	共有ディレクトリヘアクセスするために使用されるユーザ名が表示されま
	す。
マウント/アンマウント	ボタンを押すと、共有ディレクトリがマウント/アンマウントされます。マ
	ウントされた共有ディレクトリは「ファイル再生」画面の「ディスク選択」
	に表示されます。
削除	マウントポイントを削除します。マウント中は削除できません。
	削除後は「変更を保存」ボタンをクリックし、設定を反映してください。

4.4 Windows 共有設定

Windows共有設定		
Windows共有設定	Windows共有	ON
	グループ	WORKGROUP
	Net Blos名	BitNote
	ユーザ名	bitnote
	パスワード	
変更を保存		

Windows 共有を有効にすると、BitNote2 のデータ保存領域(内蔵 SSD)が公開され、同じ LAN に接続されている Windows クライアントからアクセスできるようになります。

設定項目は以下の通りです。

項目	説明	初期値
Windows 共有	Windows 共有サービスの ON/OFF を設定します。	ON
グループ	Windows ネットワークのワークグループ名を指定しま	WORKGROUP
	す。	
NetBIOS 名	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはこ	BitNote
	こで指定した名前が表示されます。	
ユーザ名	共有フォルダヘアクセスするユーザ名を指定します。	bitNote
パスワード	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定し	bitNote
	ます。	

設定保存後、以下の手順で BitNote2 のデータ保存領域へアクセスします。

エクスプローラの場所ツールバーへ BitNote2の IP アドレスと共有フォルダ名(BitNote)を指定します。 以下は IP アドレスが 192.168.0.10の例です。

¥¥192.168.0.10¥BitNote

ユーザ名とパスワードを要求されます。

Windows セキュリティ ×
ネットワーク資格情報の入力 次に接続するための資格情報を入力してください: 172.16.83.111
decstream ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
OK キャンセル

設定画面で設定した「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると BitNote2 のデータ保存領域(内蔵 SSD)へアクセスできます。

Windows PC からコンテンツをコピーしてください。

4.5 FTP 設定

ftp設定		
ftp設	定 flpサーバ	
	ユーザ名	bitnote
	パスワード	
変更を保存		

FTP サーバを起動すると設定した FTP ユーザで FTP サーバヘログインし、コンテンツファイルを FTP 経由 で BitNote2 のデータ保存領域ヘコピーできるようになります。

設定項目は以下の通りです。

項目	説明	初期値
ftp サーバ	FTP サーバの ON/OFF を設定します。	OFF
ユーザ名	FTP サーバヘアクセスするユーザ名を指定します。	未設定
パスワード	FTP サーバヘアクセスするユーザのパスワードを指定します。	未設定

設定保存後、FTP クライアントでログインすると BitNote2 のデータ保存領域へアクセスできます。

4.6 アラート設定

アラート設定			
アラート設定	アラート送信	ON	<u>トラップテスト</u>
	トラップ送信先	192.168.0.100	
	コミュニティ	public	
	アラート送信先アドレス		
	検査結果エラー	ON	
	CPU	ON	80% •
	メモリ	ON	80% •
	システムドライブ	ON	80% •
	データドライブ	ON	80% •
	電源	ON	
	ファン	ON	
	RAID	ON	
	ネットワーク	ON	
	NTP	ON	
	Windows共有	ON	
変更を保存			

SNMP トラップの設定を行う管理画面です。トラップの有効/無効、およびトラップごとの送信設定が可能です。

アラート送信

SNMP トラップを送信するかどうかを設定します。OFF に設定すると SNMP トラップは送信されません。 全てのトラップが無効になります。

トラップテスト

「トラップ送信先」に設定した SNMP マネージャ宛にテストトラップを送信します。

トラップ送信先

SNMP トラップを送信するマネージャの IP アドレスを指定します。

コミュニティ

SNMP コミュニティ名を指定します。

アラート送信先アドレス

アラートをメールで通知したい場合は、通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

検査結果エラー

QC 実行結果をメールで通知するかどうかを指定します。「アラート送信先アドレス」へ指定したメールアドレスへ送信されます。

CPU

CPU 使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。 「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

メモリ

メモリ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。 「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

システムドライブ

システムドライブ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。 「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

データドライブ

データドライブ使用率のアラートを通知するかどうかを指定します。 「ON」の場合、設定した閾値を超えるとアラートが送信されます。

電源

電源の異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

ファン

ファンの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

RAID

RAID1を構成するシステムディスクの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

ネットワーク

ネットワークインターフェイスの異常を検出した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

NTP

NTP サーバとの時刻同期に異常が発生した際にアラートを通知するかどうかを指定します。

Windows 共有

4.7 システム

システム	
再起動・停止	BitNoteサービスの再起動 再起動
	システムの再起動
	システムの停止
ログ	ログ保存期間(日指定) 30 ログ DB のみ削除 OFF
	ログ保存容量リミット (%) 95
	システムログのダウンロ ード ード
変更を保存	

BitNote2 サービスの再起動および BitNote2 サーバの起動と停止が可能です。また、検査結果の保存期間 を指定できます。

BitNote2 サービスの再起動

BitNote2 のサービスを再起動します。通常実行する必要はありません。何らかの不具合で BitNote2 が正常 に動作しない場合にサービスを再起動できます。

システムの再起動

BitNote2 サーバを再起動します。

システムの停止

BitNote2 サーバをシャットダウンします。



「システムの停止」を実行してもサーバがシャットダウンしない場合は、電源ボタンを長押しで強 制シャットダウンできます。強制シャットダウンはウェブ管理画面からシステム終了ができない場 合のみ実行してください。

ログの保存期間(日指定)

指定した日数より前に作成された検証結果レポートを削除します。

ログ DB のみ削除

検証結果レポートを削除しないで、データベースのログのみを削除します。ON にすると「ログ保存容量リ ミット (%)」は、0 に設定されます。

ログ保存容量リミット(%)

システムストレージの使用量が指定した%を超えた場合、検証結果レポートを削除しディスク容量を確保します。0の場合は削除されません。

システムログのダウンロード

「エクスポート」ボタンを押すとシステムログをダウンロードできます。

第5章 QC

この章では、BitNote2 の「QC」メニューについて記載しています。 クオリティチェックを実行するには、はじめに検査項目を定義したプロファイル(.pf ファイル)を用意す る必要があります。プロファイルには、検査項目の閾値や適正値を定義します。

5.1 プロファイル

新規プロファイル追加+ アップロード ファイルを選択 選択されていません プロファイル名 コメント 作成日 編集 DL 削除 sample_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_avc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.gp 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除	プロファイル一覧					
プロファイル名 コメント 作成日 編集 DL 削除 sample_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_avc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.g.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 削除	新規プロファイル追加+	アップロード ファイルを選択 選択されていません				
sample_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除 sample_mp4_avc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除 sample_xavc_g.pf 2018/11/30 13.04:26 編集 DL 副除	プロファイル名	イイメロ	作成日	編集	DL	削除
sample_mp4_avc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除 sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除 sample_xavc.gf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除	sample_hevc.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除
sample_mp4_hevc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 副除 sample_xavc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 副除 sample_xavc_lg.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 副除	sample_mp4_avc.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除
sample_xavc.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除 sample_xavc_lg.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除	sample_mp4_hevc.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除
sample_xavc_lg.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除	sample_xavc.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除
	sample_xavc_lg.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除
sample_xdcam.pf 2018/11/30 13:04:26 編集 DL 削除	sample_xdcam.pf		2018/11/30 13:04:26	編集	DL	削除

「プロファイル」を表示すると、初期状態で6つのサンプルプロファイルが登録されています。

初期プロファイル

sample_hevc.pf	映像コーデックが H.265/HEVC でコンテナが ts のファイルを検査するため のサンプルプロファイルです。
sample_mp4_avc.pf	映像コーデックが H.264/AVC でコンテナが mp4 のファイルを検査するため のサンプルプロファイルです。
sample_mp4_hevc.pf	映像コーデックが H.265/HEVC でコンテナが mp4 のファイルを検査するた めのサンプルプロファイルです。
sample_xavc.pf	XAVC ファイルを検査するためのサンプルプロファイルです。
sample_xavc_lg.pf	XAVC LongGOP のファイルを検査するためのサンプルプロファイルです。
sample_xdcam.pf	XDCAM ファイルを検査するためのサンプルプロファイルです。

新規プロファイルを作成するには「新規プロファイル追加」ボタンを押します。以下の「新規プロファイル 作成」画面が表示されます。

新規プロファイル作成			2010-11130-13.04	×
テンプレートプロファイル プロファイル名	未選択 未選択 sample_mp4_avc.pf sample_mp4_avc.pf sample_xavc.pf sample_xavc.gt sample_xavc.gt sample_xavc.gt sample_xavc.gt	□メント(任意)	○○用プロファイル 新規作成	

サンプルプロファイルと同じテンプレートプロファイルが用意されています。

テンプレートプロファイルを選択し、「プロファイル名」を入力します。また、必要に応じて「コメント」 欄にテキストを入力することが可能です。

入力後、「新規作成」ボタンを押します。プロファイル編集画面が表示されます。

新規プロファイル作成				×
テンプレートプロファイル sample プロファイル名 test.pf	∍_xavc.pf ▼	コメント(任意) test	新規作成	
コンテナ設定				
コンテナタイプ	MXF	コンテナビットレート(Kbps)	450000:600000	
コンテナデュレーション(msec)		MXFオペレーショナルパターン	OP1a	
GOP発行間隔(msec)	0:17	MXF構造チェック	未選択	
MXF XAVC/XDCAM 映像記述子検査	未選択			
映像設定				
音声設定				
字幕設定				
その他				
			プロファイルを保存	キャンセル

プロファイルの設定項目については「第7章 プロファイル」を参照してください。編集後、「プロファイ ルを保存」を押して設定を保存します。 プロファイル一覧に追加されます。

ウォッチフォルダで使用されているプロファイルを削除することはできません。

プロファイルのダウンロードとアップロード

プロファイルの「DL」ボタンを押してプロファイル(拡張子.pf)をダウンロードすることができます。プ ロファイルはテキストエディタで直接編集可能です。編集後は「アップロード」ボタンからアップロードで きます。ファイル名が同じ場合、プロファイルは上書きされます。ファイル名を変更すればプロファイルを 追加できます。

5.2 検査実行

「検査実行」では、クオリティチェックを自動実行するための「ウォッチフォルダ」の設定を行います。検 査ファイルを「ウォッチフォルダ」へコピーすると自動的に検査が実行され、検査完了後、「OK フォルダ」 あるいは「NG フォルダ」へファイルを移動します。また、選択したファイルを手動で検査することも可能 です。

5.2.1 自動検査実行

自動検査	実行 キッチフォルダ追加 +							
	ウォッチフォルダ	プロファイル		OKフォルダ		NGフォルダ	削除	有効/無 効
選択	/data/TEST/	sample hevc.pf	選択	/data/TEST/OK/	選択	/data/TEST/NG/	削除	有効
選択	/data/XAVC/	sample xavc.pf	選択	/data/XAVC/OK/	選択	/data/XAVC/NG/	削除	無効
								保存

「自動検査実行」では、ウォッチフォルダの設定を行います。

ウェブ管理インターフェイスからフォルダの作成や削除は行えません。事前にウォッチフォルダ /
 OK フォルダ / NG フォルダとして指定するフォルダを作成しておく必要があります。

BitNote2 サーバに搭載されているデータストレージ(/data)へアクセスするには Windows 等のクライア ント PC から共有フォルダへアクセスします。また、外部ストレージ上のフォルダを指定する場合は、事前 に外部ストーレージをマウントしておく必要があります。「4.4 Windows 共有設定」および「4.3 マウン ト設定」を参照してください。

各設定項目は以下の通りです。

新規ウォッチフォルダの追加

新規にウォッチフォルダを設定する場合は、このボタンをクリックします。 一覧に設定行が追加されます。

ウォッチフォルダ

「選択」ボタンを押すと以下の選択ダイアログが表示されます。ディスクを選択し、ウォッチフォルダを選

択します。/data は BitNote2 サーバのデータストレージを意味します。また、外部ストレージをマウント している場合は、「マウント設定」で指定した「ラベル」が表示されます。 例)/data/XAVC



プロファイル

ウォッチフォルダヘコピーされたファイルを検査するプロファイルを指定します。

OK フォルダ

「選択」ボタンを押すとフォルダの選択ダイアログが表示されます。OK フォルダを指定します。 検査の結果、NG が1つも存在しなかったファイルはこのフォルダへ移動されます。

NG フォルダ

「選択」ボタンを押すとフォルダの選択ダイアログが表示されます。NGフォルダを指定します。 検査の結果、NGが1つでも存在したファイルはこのフォルダへ移動されます。

削除

ウォッチフォルダを削除します。「有効」に設定されているウォッチフォルダは削除できません。 はじめにウォッチフォルダを無効にしてください。 削除後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

有効/無効

ウォッチフォルダの有効/無効を切り替えます。 設定後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

保存

設定後、変更を反映するには「保存」ボタンを押下します。

5.2.2 手動検査実行

手動檢查実行							
ディスク選択	ファイル一覧						
/data/ ▼		ファイ	儿名	タイムスタンプ	ファイルサイス	ぐ 映像の長さ	コーデック
	Z1TITLE04.MXF			2018-12-03 19:19	2.2G	00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
ディレクトリ選択	Z1TITLE05.MXF			2018-12-03 19:19		00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
🔁 . 🔺	Z1TITLE06.MXF			2018-12-03 19:20	2.2G	00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
PF	Z1TITLE07.MXF			2018-12-03 19:20		00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
TEST	Z1TITLE08.MXF			2018-12-03 19:20	2.2G	00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
	Z1TITLE09.MXF			2018-12-03 19:20		00:05:01.37	mpeg2video/pcm_s24le
	bbb_sunflower_2	160p_60fps_normal-HEVC.1		2018-12-04 14:42		00:10:34.45	hevc/aac
	チェックするファイル		プロファイル				
			sample_hevc.	pf ▼ 実行			
4	実行中						
	ウォッチフォルダ	プロファイル	チェックファイル				
¢۲−⊐ע	manual	/data/PF/sample_hevc.pf	/data/bbb_sunflower_2160 p_60fps_normal-HEVC.ts		2.5%		停止

「手動検査実行」ではファイルを個別に選択をして手動で検査を実行することが可能です。 ウォッチフォルダと異なるフォルダに存在するファイルを検査したい場合や、外付け USB メモリに格納さ れているファイルをウォッチフォルダへコピーせずに直接検査したい場合は手動実行が便利です。

各設定項目は以下の通りです。

ディスク選択

ディスクを選択します。/data は BitNote2 サーバのデータストレージを意味します。外付け USB メモリ やストーレージを接続した場合は「USB1」「USB2」といったディスク名で表示されます。また、外部ス トレージをマウントしている場合は、「マウント設定」で指定した「ラベル」が表示されます。

外付けの USB メモリやストレージを選択すると ボタンが表示されます。USB デバイ スを取り外すときはアンマウントを実行してから取り外してください。

ディレクトリ選択

選択したディスクに存在するフォルダが表示されます。クリックして階層を下ることができます。

ファイル一覧

選択したディレクトリに格納されている動画ファイルが表示されます。「タイムスタンプ」、「ファイルサ イズ」、「映像の長さ」、「コーデック」といったファイル情報も表示されます。

ファイル名の左にあるチェックボックスをクリックして手動実行したいファイルを選択します。

チェックするファイル

選択したファイルが表示されます

プロファイル

選択したファイルを検査するプロファイルを選択します。

実行

「実行」ボタンを押すと手動検査が開始されます。「実行中」に検査の進捗状況が表示されます。

実	行中					
	ウォッチフォルダ	プロファイル	チェックファイル			
	manual	/data/PF/sample_hevc.pf	/data/bbb_sunflower_2160 p_60fps_normal-HEVC.ts	•	2.5%	停止

5.3 検査結果

梭查結果				
10 ▼ 検査開始	▼ 昇順 ▼	全て削除 全て 🔻	2018/12/04 2018/12/04 2018/12/04	キーワードを入力してください
Pier Prode	/data/bbb_sunflower_2160p_60fps_not -HEVC.ts	rmal コーデック TS188/HEVC/AAC	プロファイル sample_hevc.pf	創業
	チェック項目数 45 📀 38 🗧	۲ ا × × ×		
	検査開始 2018/12/04 17:33:33 検査	各終了 2018/12/04 17:48:53	検査結果詳細 ● HTML表示	ダウンロード 🛓 HTML 🖉 PDF
	/data/bbb-60sec.mp4	コーデック MP4/H264/AAC	プロファイル sample_hevc.pf	創隆
	チェック項目数 29 📀 18 🧯	אלאב 11 פון פ		
	検査開始 2018/12/04 17:46:52 検査	盐終了 2018/12/04 17:48:03	検査結果詳細 ● HTML表示	ダウンロード ▲HTML @PDF
	/data/bbb-60sec.mp4	コーデック MP4/H264/AAC	プロファイル sample_hevc.pf	利除
	チェック項目数 29 🥑 18 🔮	11 コメント		
0	検査開始 2018/12/04 17:43:51 検査	5 終了 2018/12/04 17:45:02	校查結果詳細 ● HTML表示	ダウンロード ▲ HTML @ PDF
				前へ 1 次へ

検査結果の一覧が表示されます。プルダウンで1画面に表示するエントリ数やソートの指定が可能です。また、検査結果、検査時間、コメントで検索し表示する検査結果を絞り込むことが可能です。 各項目は以下の通りです。

サムネイル

ファイルの先頭のサムネイルを表示します。クリックすると「映像のプレビュー」画面へジャンプします。 プレビューについては「第8章 プレビュー」を参照してください。

ファイル

検査したファイルが格納されているフォルダとファイル名が表示されます。

コーデック

検査したファイルのコンテナ/動画コーデック/音声コーデックが表示されます。

プロファイル

検査で使用したプロファイルが表示されます。

チェック項目数

検査結果のサマリーが表示されます。チェック項目数、OK 項目数、NG 項目数が表示されます

コメント

検査結果にコメントを入力することができます。

検査開始

検査を開始した時刻が表示されます。

検査終了

検査が完了した時刻が表示されます。

検査結果詳細

HTML 形式のレポートを表示することができます。「HTML 表示」ボタンをクリックするとレポートが展開 されて「表示」ボタンが表示されます。クリックするとレポートが表示されます。

BitNote クオリティチェック レポート		
	Turbosystems, Inc.	
レポート概要		
日時	2016/10/13 15:16	
ファイルパス	/data/HEVC/bbb_sunflower_2160p_60fps_normal-HEVC.ts	
プロファイルパス	/data/PF/sample_hevc.pf	
	2.211.885.236 bytes (2.1G)	
ファイルサイズ		
ファイルサイズ チェック結果	チェック項目数:43,成功:38,失敗:5	
ファイルサイズ チェック結果	チェック項目数43,成功38,失敗5 コンテンV再生 プロファイルの編集	

コンテナ		
項目	値	チェック
拡張子	ts	✓ OK
タイプ	TS188	✓ OK
時間	634433(ms)	
ビットレート	27890(Kb/s)	× NG
映像コーデック	HEVC	✓ OK
音声コーデック	AAC	✓ OK
ProgramID	1	
PID	4096(pmt) 256(pcr) 256(vdo) 257(ado1)	
GOP 発行間隔	最小:500/最大:500(ms)	✓ OK
		-

(省略)

56	<u>00:07:20:40</u>	Error: 音声1 ラウドネス -9.14dBTP(-9.20)オーバーしました	
57	00:07:20:40	Error: 音声1 トゥルービーク 0.35dBTP(-1.00)オーバーしました	
58	<u>00:07:20:46</u>	Error:音声1 ラウドネス -8.92dBTP(-9.20)オーバーしました	
59	<u>00:07:20:46</u>	Error: 音声1 トゥルーピーク-0.39dBTP(-1.00)オーバーしました	
60	<u>00:07:27:34</u>	Error: 音声1 トゥルービーク-0 23dBTP(-1.00)オーバーしました	
61	00:07:28:58	Error: 音声1 トゥルーピーク-0.62dBTP(-1.00)オーバーしました	
62		Info: 読込サイズ2211885236	
63		Info: デコードを終了しました	
64		Error: 音声 ラウドネス -2500:-2300 (-1875)	
65		Error: コンテナ PCR 0:100 (33:466)	
66		Info: HEVC NAL: IDR_W_RADL:1 CRA_NUT:1268 TRAIL_N:11420 TRAIL_R:22841 RASL_N:1268 RASL_R:1268 最 大POC:255	

プロファイルで定義した値とファイルの検査結果が異なる項目は「NG」と表示されます。

「コンテンツ再生」ボタンを押すと「映像のプレビュー」画面が表示されます。

また、エラーログのリンクをクリックするとプレビュー画面が表示され、クリックしたエラーの箇所へジャンプすることが可能です。

「プロファイルの編集」ボタンを押すと、プロファイル編集画面が表示され、NGと判定された項目が赤色で表示されます。値を変更したプロファイルを再作成したい場合に便利な機能です。

ダウンロード

レポートをダウンロードできます。

HTML 形式の検証レポートをダウンローするには「HTML」ボタン、PDF 形式の検証レポートをダウンロードするには「PDF」ボタンをクリックします。

全て削除/削除

レポートを手動で削除したい場合は「削除」ボタンを押します。「全てを削除」を押すと全てのレポートが 削除されます。レポートの自動削除設定は「4.7 システム」を参照してください。

第6章 システム情報

システム情報	
システム情報	xjive_qc 1.02.0+c2(9827912) 20181127 bnoted 1.0.0_472dc5b 20181127 BitNote GUI 2.0.0-91a08de
システムのアップデート	アップロードされたファイル: ファイルを選択 選択されていません アップロード アップデートを適用

BitNote2のバージョン情報、およびソフトウェアアップデートのための管理インターフェイスが表示されます。

システム情報

デコーダソフトウェアのバージョンとウェブ管理画面のバージョンを表示します。

システムのアップデート

最新のソフトウェアへアップデートすることができます。

- 1. 「ファイル選択」ボタンを押下し、アップデートファイルを選択します。
- 2. 「アップロード」ボタンを押下します。
- 3. 「アップデートを適用」ボタンが有効になったらボタンを押下します。
- 4. アップデート処理が始まります。

第7章 プロファイル

この章ではプロファイルの設定項目について解説しています。

選択した「テンプレートプロファイル」によって、設定可能な項目や初期値は異なります。

空白にした項目は検査対象から除外されます。

7.1 コンテナ設定

項目名	説明
コンテナタイプ	コンテナのタイプを指定します。 TS では、MPEG2 TS パケットサイズ(188, 192, 204)を指定します。
コンテナビットレート(Kbps)	コンテナから検出できるビットレートを Kbps 単位で指定します。 例)29000:31000
コンテナデュレーション(msec)	コンテナから検出できる長さをミリ秒単位で指定します。 例)60000:60100
MXF オペレーショナルパターン	MXF のオペレーショナルパターンを指定します。
GOP 発行間隔(msec)	GOP の発行間隔を指定します。ARIB では 1000mSec 以内とされています。 例)100:1001
PCR 発行間隔(msec)	PCR の発行間隔を指定します。ARIB では 100mSec 以内とされています。

	例)0:100	
PAT 発行間隔(msec)	PAT の発行間隔を指定します。ARIB では 500mSec 以内とされています。 例)0:500	
PMT 発行間隔(msec)	PMT の発行間隔を指定します。ARIB では 500mSec 以内とされています。 例)0:500	
TS プログラム ID	TS PROGRAM_ID を検査したい場合、10 進数で指定します。	
TS PMT PID	TS PMT PID を検査したい場合、10進数で指定します。	
TS PCR PID	TS PCR PID を検査したい場合、10 進数で指定します。	
TS VIDEO PID	TS VIDEO PID を検査したい場合、10 進数で指定します。	
TS AUDIO PID	TS AUDIO PID を検査したい場合、10 進数で指定します。	
TS AUDIO2 PID	TS AUDIO2 PID を検査したい場合、10 進数で指定します。	
MXF 構造チェック	XDCAM(SMPTE RDD9)と XAVC(SMPTE RDD32)で規定された構造チェックを行います。	
MXF XAVC/XDCAM 映像記述子検査	MXF XAVC/XDCAM 映像記述子をチェックします。	
MP4 ftyp ボックス	MP4 コンテナの ftyp ボックスに記述されている major brand 値が指定された内容と一致しているかをチェックします。 例) M4V, mp42	
MP4 moov ボックス	MP4 コンテナの moov ボックスが先頭にあるかをチェックします。	

7.2 映像設定

項目名	説明
映像コーデック	映像コーデックを指定します。
映像プロファイル	映像コーデックのプロファイルを指定します。
映像レベル	映像コーデックのプロファイルレベルを指定します。
映像フォーマット	YUV 構造を指定します。
映像サイズ	映像サイズ(解像度)を指定します。
アスペクトレシオ	アスペクトレシオを指定します。
フレームレート(FPS)	フレームレートを FPS 単位で指定します。
フィールドオーダー	プログレッシブまたはインターレースかを指定します。 インターレースの場合は、トップフィールドファーストかボトムフィールドファーストかを指定します。
カラーレンジ	映像の色空間がリミテッドレンジか、フルレンジかを指定します。通常、MPEG2/H.264/HEVC ではリミテッドレ ンジですが、 XAVC はフルレンジです。
カラースペース	映像の色域定義を指定します。(BT707, BT2020, BT2020CL)
カラープライマリ	YUV に変換する場合の色域定義を指定します。(BT709、BT2020, SMPTEST428-1)
カラートランスファー	映像送信する際の色域定義を指定します。(BT709, BT2020, BT2100-PQ, SMPTEST428-1, BT2100-LG)
映像デュレーション(msec)	実際の映像から検出する再生時間をミリ秒単位で指定します。 例)60000:60100
映像ビットレート(KByte)	映像から検出するビットレートを KByte 単位で指定します。

	例)10:40000
映像平均ビットレート(KByte)	映像の実際の平均ビットレートを KByte 単位で指定します。 例)18000:31000
映像揺らぎ誤差	映像の1フレームの持つ時間とタイムスタンプを比較するときの揺らぎ誤差(検出しない差)をタイムスタンプ単位 で指定します。
黒レベル(%)	黒レベル検出の閾値をパーセントで指定します。
黒レベルの時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「黒レベルの時間閾値(msec) 」の値を超えた場合はエ ラーになります。
黒レベル時間閾値(msec)	黒レベル時間の閾値をミリ秒単位で指定します。 例えば 1000 の場合は、黒レベルが 1 秒間続くとエラーになります。
フリーズレベル(%)	フリーズレベル検出の閾値をパーセントで指定します。
フリーズレベルの時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「フリーズレベルの時間閾値(msec) 」の値を超えた場合はエラーになります。
フリーズレベル時間閾値(msec)	フリーズレベル時間の閾値をミリ秒単位で指定します。 例えば、1000 の場合は、フリーズレベルが 1 秒間続くとエラーになります。
ブロックノイズ検出(%)	映像ブロックノイズ検出
ブロックノイズの時間閾値(msec)	映像全体の中でブロックノイズが VIDEO_BLOCK_NOISE_AREA で指定されたパーセンテージ分含まれており、 VIDEO_BLOCK_NOISE_DURATION 秒間検出された場合に検出。msec 単位。
Harding FPA ※オプション	パカパカチェックの有効/無効を指定します。
スタートタイムコード	最初のタイムコードを HH:MM:SS:FF の形式 (例: 01:00:00) で指定します。

7.3 音声設定

項目名	説明
音声コーデック	音声コーデックを指定します。
音声プロファイル	音声コーデックのプロファイルを指定します。
音声レベル	音声コーデックのプロファイルレベルを指定します。 AAC の場合、MPEG2 か MPEG4 かを指定します。
サンプルレート	音声サンプルレートを指定します。
音声揺らぎ誤差	音声の1フレームの持つ時間とタイムスタンプを比較するときの揺らぎ誤差(検出しない差)をタイムスタンプ単位 で指定します。 通常、1パケット程度の誤差は発生します。
映像と音声の差(msec)	TS パケット上で復調するときの映像と音声のタイムスタンプの差異の最大値をミリ秒単で指定します。
モスキートノイズ検出感度(0-100)%	モスキートノイズ検出感度を指定します。percent(0 - 100) 50%が適切値
モスキートノイズの時間閾値(msec)	モスキートノイズ検出時間を指定します。mSec 1000 = 1Sec 何 m 秒間続くか
ハムノイズ検出感度(0-100)%	ハムノイズ検出感度を指定します。percent(0 - 100) 検出感度 50%が適切値
ハムノイズの時間閾値(msec)	ハムノイズ検出時間を指定します。mSec 10000 = 10Sec 何 m 秒間続くか
クリックノイズ検出感度(0-100)%	クリックノイズ検出感度を指定します。percent(0 - 100) 検出感度 50%が適切値
クリックノイズの時間閾値(msec)	クリックノイズ検出時間を指定します。mSec 000 = 200mSec 何 m 秒間続くか
PCM 音声チャネル数の最大	音声チャンネルの最大数を制限します。

※ 以下、音声1~音声4は同じ設定項目です。	
音声ラウドネス(LKFS)	音声のラウドネス値を指定します。 日本の放送の場合、TR-B32 で定義されている値、-24.0LKFS(-25:-23)を指定します。
音声ラウドネス(LKFS) 警告	設定値の範囲内であれば、レポートのログに警告を表示します。 例えば、「音声ラウドネス(LKFS)」に -25:-23 を入力、「音声ラウドネス(LKFS) 警告」に -70:-25 を入力した場 合、検出結果が -70 から-25 の間の場合は警告、-24 は OK、-23 以上の場合は NG となります。
音声デュレーション(msec)	実際の音声から検出する再生時間をミリ秒単位で指定します。 例)60000:60100
音声ビットレート(KByte)	実際の音声から検出するビットレートを KByte 単位で指定します。 例)10:600
音声無音検出閾値(LKFS)	無音検出の閾値を LKFS 単位で指定します。 ARIB では無音は -70LKFS とされています。
音声無音の時間閾値(msec)	無音時間の閾値を指定します。 例えば、3000 の場合は、3 秒間無音が続くとエラーになります。
音声無音の時間閾値(msec) (警告)	設定値を超えた場合、レポートのログに警告を表示します。「音声無音の時間閾値(msec) 」の値を超えた場合はエ ラーになります。
音声トゥルーピーク(dBTP)	トゥルーピーク のピークレベル検出閾値を dBTP 単位で指定します。
音声ラウドネスピーク(LKFS)	ラウドネスのピークレベル検出閾値を LKFS 単位で指定します。
音声マッピングタイプ	音声がどのようにマッピングされているかを指定します。 ラウドネスの検査に影響がありますので必ず正しい音声モードを指定してください。

7.4 字幕

XAVC と XDCAM のプロファイルを選択した場合に設定可能です。

項目名	説明
字幕フォーマット	MXF アンシラリ領域に含まれる ARIB STD-B37 字幕フォーマットを検査します。
字幕ページの間隔閾値(msec)	字幕ページ間隔を検査します。指定された値未満であればエラーとしてカウントします。
先頭の字幕データ (msec)	先頭の字幕データが START_TIME から何 mSec 以下で現れるかを検査します。指定された値未満であればエラーと してカウントします。
クリアパケット	字幕データの最後にクリアパケットがあるかを検査します。
字幕データ出力	字幕データの内容を検査結果に出力します。

7.5 その他

項目名	説明
本編開始時間	検査の実行を開始するタイムコードを指定できます。
本編終了時間	検査の実行を終了するタイムコードを指定できます。
プロキシファイル作成	プロキシファイル作成の有効/無効を指定します。
サムネイル時間(msec)	指定した時間の映像を検査結果のサムネイルに表示します。

サムネイルレポート埋め込み	検査レポートヘサブネイルの画像を挿入するかどうかを指定します。
ハッシュ形式	ハッシュを生成する場合、ハッシュのタイプを選択します。

第8章 プレビュー



プレビューのパフォーマンスは、回線速度や再生しているクライアント PC のスペックに依存しま
 す。環境によってはスムーズに動作しない可能性があります。

プレビューはプロファイルの「その他」–「プロキシファイル作成」が「ON」に設定されている場合のみ 利用可能です。「映像のプレビュー」画面は以下の操作で表示されます。

- ・ 「検査結果」ページに表示されている結果一覧のサムネイルをクリックする
- ・ レポート(HTML版)を表示し、「コンテンツ再生」ボタンをクリックする
- レポート(HTML版)を表示し、エラーログのリンクをクリックする。この場合はエラー検出したタイムコードの映像を表示します。

プレビュー画面を閉じるには、プレビュー画面の外をクリックします。 各ボタンや操作は以下の通りです。

前のエラー / 次のエラー

FS(-9.20)オーバーしました

矢印をクリックすると前のエラー、次のエラーの映像ヘジャンプすることが可能です。



バーをクリックして音量を調節することができます。

再生バー



再生バーです。映像の長さ、再生位置、再生フレームを確認できます。バーをクリックして映像の再生位置 を変更することができます。

エラーを検出した場所は赤い線で表示されます。

再生/一時停止

▶ 再生/一時停止

ボタンを押すたびに再生/一時停止が切り替わります。

早戻し / 早送り



のプルダウンで指定した速度で映像を早戻し/早送りします。

フレーム戻し / フレーム送り



フレーム送り (0.0166666667秒) のプルダウンで指定した間隔で映像を進めたり、戻したりすることがで

きます。

三点チェック再生



先頭、真ん中、最後から10秒へ移動し映像を再生します。

ループ再生

€ループ

映像をループ再生するかどうかを指定できます。

サムネイルを固定する

サムネイルを固定する

通常、サムネイルは再生している映像の位置にあわせて自動的に移動しますが、この設定を有効にするとサ ムネイルは移動せずに固定されます。 サムネイル



エラーを検出したタイムコード付近のスクリーンショットが表示されます。サムネイルをクリックすると、 そのタイムコードの映像へジャンプします。

第9章 アラート一覧

この章では「BitNote2」が送信する SNMP トラップについて記載しています。

送信メッセージ	OID
トラップテスト	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1
デーモンを起動しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1001
デーモンを終了しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1880
フォルダエラーにより実行中のジョブをキャンセルします、	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1722
コマンドエラー	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.1216
ウォッチフォルダを開けません	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2216
ジョブをキャンセル	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7077
QC 結果	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7200
QC が異常終了しました。	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.7208
ファンの異常を検出しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2001
ファンが正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2002
電源の異常を検出しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2011
電源が正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.2012
RAID1 に異常が発生しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3001
RAID1 復旧状態(リビルド処理中)	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3002
RAID1 が正常に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.3003
メモリ使用量が高くなっています	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4001
メモリ使用量が正常な値に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4002
CPU 使用率の負荷が高くなっています	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4011
CPU の負荷が正常な値に戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4012
システムドライブの空き容量が閾値よりも少なくなりました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4021
システムドライブの空き容量が正常レベルに戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4022
データドライブの空き容量が閾値よりも少なくなりました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4031
データドライブの空き容量が正常レベルに戻りました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.4032
ネットワークインタフェースとの通信が切断されました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.5001
ネットワークインタフェースとの通信が回復しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.5002
NTP サーバとの通信が切断されました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.6001
NTP サーバとの通信が回復しました	.1.3.6.1.4.1.44759.3000.6002
	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7001

smb サービスが復旧しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7002
nmb サービスに異常が発生しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7003
nmb サービスが復旧しました	1.3.6.1.4.1.44759.3000.7004

